

平成
26年度

河川水質調査結果

市内河川の水質はおおむね良好

— 7月は河川愛護月間です —

問 環境政策課
☎内線1561

市内10河川を水質調査

市では、毎年市内を流れる10河川の水質の調査を行っています。調査は、小野川が年12回、他の川は年6回実施しています。調査結果では、河川の汚れの程度を表すBOD^{※1}を重要視しています。

市内を流れる小野川(全域)BODの「環境基準値」^{※2}は、「2mg/ℓ以下」、稲荷川は「3mg/ℓ以下」としてあります。

川に棲む魚とBODの関係は、イワナやヤマメなど清流の魚が棲むためには、BODの値が2mg/ℓ以下、サケ、アユなどが棲むためには3mg/ℓ

以下であることが求められています。

平成26年度の調査結果では、小野川(全域)と稲荷川は環境基準に適合しています。

平成26年度のデータと25年度のデータを比べると、表1の河川のうち、3河川は、BODの値が下がり(水質が改善したという意味です)2河川は変わりませんでした。残りの6河川は、BODの値は少し上がっていますが、11カ所でBOD値は3mg/ℓ以下という調査結果でした。このことから10河川の水質は、おおむね良好な状態と言えます。

美しい水辺環境を守るために

川の汚れの原因は、私たちの生活と大きく関連しています。ご家庭では、せっけんや洗剤は必要以上に使わない、油などが含まれた汚れた水は流し台に流さないようにすることで、川は常にきれいな状態を保つことができます。また、浄化槽を利用している世帯すべてが年に数回の保守点検と年1回の清掃、法定検査を実施することで、河川の水質が良好な状態を保つことができます。川をきれいに保つため皆さんのご協力をお願いします。

表1 市内各河川の水質調査結果(年平均) (単位: mg/ℓ)

河川名	24年度	25年度	26年度	環境基準
刈谷川	1.8	1.8	2.0	—
稲荷川	2.8	1.2	1.8	B類型3mg/ℓ以下
根古屋川	1.9	1.1	1.7	—
遠山川	1.9	1.5	1.5	—
柏田川	1.6	1.4	2.1	—
結束川	1.1	1.2	1.4	—
太田川	1.0	1.3	1.4	—
桂川	1.9	2.0	1.8	—
乙戸川	2.2	1.9	1.9	—
小野川(上流)	3.1	2.3	2.0	A類型2mg/ℓ以下
小野川(下流)	2.1	1.7	1.6	A類型2mg/ℓ以下

※「—」は環境基準が指定されていません。

小野川

※1 BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水中にある有機物を細菌が分解するのに必要な酸素の量をいい、この値により、水中にある生物化学的な分解を受ける有機物の量を示します。水の流れがある河川などの汚濁の程度を判断するための指標です。

※2 環境基準値は、河川(公共用水域)の生活環境の保全に関する環境基準として、利用目的の適用性より、AAからEの類型に分類され、小野川(全域)は類型がAに、稲荷川はBに指定されています。

【河川の水質基準】

区分	BOD(生物化学的酸素要求量)
AA類型	1mg/ℓ以下
A類型	2mg/ℓ以下
B類型	3mg/ℓ以下
C類型	5mg/ℓ以下
D類型	8mg/ℓ以下
E類型	10mg/ℓ以下